草地造成の良い例

―岩手県のある開拓酪農家―

岩手県草地協会　高橋喜一郎

草地造成の良い例として、昭和四十年度の中央畜産会主催第四回全日本草地肥培管理優良事例コンクールで、東日本技術賞に入賞した岩手県稗貫郡石鳥谷町稲豊の村沢卯太郎さんの牧草地を紹介しましょう。

村沢さんは終戦直後現在地に入植、一般開拓者と同じく穀菽を主とした経営を行なってまいりましたが、昭和三十年に酪農による生活改善を志し、乳牛二頭を導入、デントコーンを主な飼料として再発足をいたしました。ところが昭和三十五年には成牛五頭、子牛三頭となり、飼料の確保と労力の問題が大きな悩みとなってきました。そこで石鳥谷農業改良普及所の指導を仰ぎ、入植当時確保していた未利用の約二・〇㌶の土地で自給飼料を確保することを計画、将来は成牛十頭を繋養する安定した酪農経営を目標として、且つまた労働力の不足を補うため、牧草を主とする省力的な経営が最適と考えて、既存のリンゴ園〇・五㌶全部を牧草化することに決心をいたしました。

リンゴ園以外は草刈場として利用していた原野でしたが、昭和三十五年夏に、先ずこの二㌶の原野を耕耘機で全面耕起し、砕土時に基肥として十㌃当り次の肥料を施しました。

堆厩肥	五、五〇〇㌔
炭カル	三〇〇
尿素	一〇
塩加	一〇
熔燐	四五

これ等を全面に散布し、土壌と肥料がよく混合するように二～三回砕土攪拌した後、手製の芝ハローで地表面を丁寧に整地し、雨降りあとの水分が充分ある日を選んで次の牧草種子を混播しました。これが昭和三十五年の九月上旬です。

◎牧草の品種と一〇㌃当り播種量

オーチャードグラス	一・〇㌔
ペレニアルライグラス	一・〇
イタリアンライグラス	〇・五
レッドクロバー	〇・五
ラデノクロバー	〇・三
計	三・三㌔

これ等の種子は、基肥として施用した金肥と同量の肥料に混合して二・五㌶の全面にむらのないように縦横に散播し、芝ハローに丸太をのせた手製の鎮圧器で鎮圧しました。

発芽した牧草は十一月初めまでには草丈が二〇～三〇㌢に伸びましたが、その年は刈取りをせずに越冬し、翌年四月中旬から刈取りを始めました。四月中旬では周囲の野草は未だ若芽が出た状態ですが、もう一番刈が出来る状態となり、以後二五～三〇日毎に刈取り利用し、その後は毎年、年間七～八回の刈取りを行なって、草の伸びの状態によっては刈取用の草地にも繋牧利用を行なう程の生産があり、造成後六ヵ年を経た今日でも更新の必要はなく、昭和四十年に於ける刈取回数と収量は次の通りで、合計一〇㌃当り一三㌧の高収量をあげた素晴しい草地となっています。

昭和四十年度実績

刈取回数	刈取月日	一〇㌃生産収量
1	五月十二日	二、九〇六㌔
2	六月五日	三、〇五〇
3	六月二六日	二、六〇〇
4	七月七日	一、九二五
5	八月十九日	一、〇七五
6	九月二〇日	七二五
7	十月十八日	七七五
計		一三、〇五六

この外に、五月から六月の草生の良い時は軽く放牧利用し、最終刈取後の掃除刈も行なっているので総収量に於ては、この収量を上回っているものと思われます。

これ等の牧草の給与区分は次の通りで

○・五㌶（リンゴ園下）
一・二㌶　青刈乾草用
○・八㌶　放牧用
計二・五㌶

早春より晩秋まで生草の刈取り又は放牧給与が主体ですが、牧草の伸びと天候や労力を考慮して、乾草及び牧草エンシレージを作り、冬期飼料として貯蔵しています。また、牛舎より五〇㍍はなれた放牧地は電気牧柵をめぐらし、午前、午後各々二時間宛放牧しています。

このように二・五㌶の牧草のみで、成牛十頭の年間粗飼料を充分自給することができ、而も乳代に対する購入飼料代の割合は二一％で、岩手県の目標三〇％を下回る極めて優秀な自給率を示しています。

このような好成績をあげたことは、村沢さんの努力と工夫によるものですが、何と言っても思いきった牧草の活用、そして思いきった施肥による牧草反収の増加が主因と思われます。年々の追肥量は

	一〇㌃当りキロ
昭和三十六年度	
尿素	二五㌔
熔燐	四五
塩加	一五
昭和三十七～昭和四十年まで（年間）	
尿素	二〇～二五㌔
熔燐	五〇～六〇
塩加又は硫加	一二～一五

で、牧草の伸びと天候の状態を考慮して各刈取り直後に分施しています。尚、草地に最も近いところに尿溜を作り、雨の日か又は雨降り直後の水分の多い時に牛尿の原液をポンプで散布し、成牛十頭の牛尿は毎年ほとんど全量を草地に還元していますし、早春や冬期間には牛糞、堆厩肥も年々牧草地に施用しています。これ等と草地造成時に施用した炭カルとが地力の維持増進や酸性化の防止に役立っているものと思われます。これらの作業は村沢さん夫婦二人で行ない、サイロ切込みなどの繁忙期のみ若干の雇人を雇用しただけで、最近は住宅も改築し、生活環境の近代化を図って、楽しい酪農を続けておられることを附記して、この紹介を終ります。